

9月議会の建設委員会で キャリアカーによる「本県の車両物流の課題」 について質問しました。

特殊車両の通行許可件数などについて伺うと、10年間で国約1.8倍、本県約1.4倍に増加。許可書交付まで1カ月以上を要する場合もあるとのこと、審査日数の長期化は大きな課題です。国土交通省が道路の障害情報を「道路情報便覧」に収録して手続きの迅速化を図っているため、収録の促進とともに、収録の進んでいない市町村への徹底をお願いしました。

キャリアカーの積み荷の新車が、街路樹の枝と接触してキズが発生するリスクは、ドライバーにとって大変深刻な問題です。そこで、道路利用者が街路樹の剪定等の要望を一括して伝える仕組みについて伺うと、『LINEアプリによる道路緊急ダイヤル#9910』を活用してほしいとの回答がありました。県として、物流事業者の皆さんへの一層の啓発を依頼しました。



どなたからでも通報可能です!!
ご活用ください。

「路面の汚れ」「落下物」
「落石・土石流入等」
「ガードレール・標識等の損傷」
「路面の穴ぼこ・段差」
「動物の死骸」など

道路の異状を
発見したら
LINEで通報



友だち追加は
二次元コード
から

活動のご報告 岡崎市や幸田町を中心に、皆さんの要望を伺っています。

**8/24 愛知教育大学同窓会
三河地区会定期総会に参加**
岡崎市民会館で開催された「令和七年度 愛知教育大学同窓会三河地区会定期総会」に参加しました。式典の中で、ご挨拶される皆さんから教育に対するさまざまな思いを伺う貴重な機会です。



**9/20-21 フタバ産業労組&
会社のイベントに参加**

フタバ産業労組の80回定期大会と会社の80周年記念フェスティバルに参加。メインステージで1,000人を超える観客の皆さんを爆笑させていたキンタロー。さんに遭遇し、加藤よしや市議と記念に1枚フライングゲット!



**9/19 アウトレット開業予定地周辺の
課題をヒアリング**

アウトレット開業予定地の池金橋北周辺の課題を、地元の方からヒアリング。11月に大きく環境が変わる前にできることは対策したいと思います。



**8/19 尾張エリアの道路・
河川の対策予定を確認**

建設委員会の県内調査で、一宮建設事務所と海部建設事務所の管内を訪問。昨今の豪雨災害や慢性的な渋滞ポイント、通学路の安全対策など、尾張エリアの課題と道路・河川の対策予定を確認できました。



**9/5 子ども・子育て対策特別委員会の
調査で京都へ**

京都府の婚活応援センターの取り組みを確認し、学童保育「京都大学キッズコミュニティ」を訪問。大阪に移動して、日本で最初に子どもホスピスが設置された「淀川キリスト教病院こどもホスピス」を見学しました。



9/10 北海道の取り組みを調査

身障者の皆さんのアンケート結果から生まれた自動ドア(ミライロード)の見学をはじめ、治水対策設備や建設部門の省人化、港湾のカーボンニュートラル、北海道の7つの空港の一体運営などを確認しました。



モノづくり産業の基盤維持のカギは 外国人労働者の 戦力化

日本の深刻な労働力不足を背景に、2027年4月から外国人材の専門的なスキル向上と長期的な定着を目的とした「育成就労制度」が始まります。企業がやる気のある外国人の若い方に日本で長く働いてもらう前提で雇用・育成し、戦力化する新たな仕組みをつくっていくべきだと考えています。

日本経済の復活には
「賃上げの継続」が重要

継続する物価上昇に応じた賃上げは、日本経済にとって大変重要です。自動車産業は過去3年間の賃上げをリードしてきました。

「賃上げの継続」を図る
取り組みが不可欠

しかしながら自動車産業は、トランプ関税の影響を少なからず受けることになります。これまで以上に、賃上げの継続を図るための取り組みが不可欠です。

中小・零細企業まで含めた
価格転嫁の継続を!

「賃上げ継続」には、巨大なサプライチェーンを支える中小・零細企業までを含めた価格転嫁の継続が大前提。さらに各社ごとに生産性向上を図る必要があります。

有効な手段の一つが、
「外国人労働者の戦力化」です



自動車産業の深刻な人手不足の穴を埋めてもらっているのは、外国人労働者です。

一定期間で入れ替える人材としてではなく、日本人の社員と同じように、各企業の大切な一人として活躍していただくことが、愛知県のモノづくりを守ることにつながっていきます。

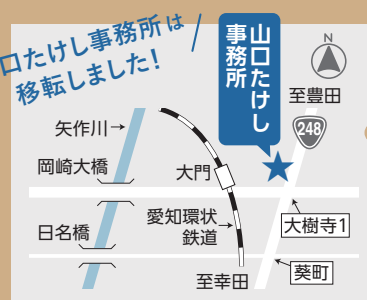


ご意見などございましたら

下記までご連絡ください。

発行 山口たけし事務所

〒444-2134 岡崎市大樹寺3丁目1-7-105号
TEL: 0564-21-6376 FAX: 0564-21-2388
E-mail: takeshi-yamaguchi@tmwu.or.jp



お近くにお越しの際は、
ぜひお立ち寄りください。



公式サイト



全国2位

約23万人の外国人労働者が働く！

「愛知県の健全な受入に向けた取り組み」

「2040年には97万人の労働者が不足する」と言われている日本。愛知県では、22万9,627人（全国2位/2024年10月末時点）の外国人が働いています。多くのモノづくり企業が集積する愛知県にとって、愛知県で働くことを魅力に感じ、継続的に優秀な人材を送り出してもらう環境を整えるのは急務です。

愛知県 労働局の取り組み

国による在留資格の見直しも進み、愛知県でもますます外国人労働者の活躍が期待されています。2025年度からは、国内支援の充実と海外人材の確保に向けた新しい取り組みを行っています。

県内企業と外国人労働者をきめ細やかにサポート／「あいち外国人材受入サポートセンター」の設置・運営

■開設日：2025年4月30日（水）

■場所：名古屋市中村区名駅1-1-4 JRセントラルタワーズ46階 ■時間：午前9時～午後5時（土日祝・年末年始を除く）



① 相談窓口 企業と外国人双方に向けた相談窓口を設置。

企業

- ① 求人・採用選考に関すること
- ② 雇用・労務管理に関すること
- ③ 外国人材の在留資格に関すること
- ④ 外国人材の受入に関すること
- ⑤ 外国人材育成・定着に関すること等

外国人

- ① 外国人材の就職活動に関すること
- ② 日本式就職活動方法に関すること
- ③ 労務知識に関すること
- ④ キャリアに関すること等

2024年
8月末までに、
企業と外国人より、
合わせて500件近い
相談あり！



② 企業向けセミナーの開催

採用準備から定着まで受入段階に応じた企業向けセミナー（全4回）を開催。

④ 国内合同企業説明会の開催

対面の合同企業説明会、外国人材向けの就職支援セミナーを開催。

その他の取り組み／

海外人材を対象に
「JOB FAIR AICHI」の開催

定住外国人の
介護職への就職を支援

外国人労働者に
労働関係法令等を周知

③ 専門家による伴走型支援の実施

不安や課題を抱える企業を対象に、専門家による伴走支援を実施。

⑤ 働く上で必要な日本語研修の実施

中小企業で働く外国人に、働く上で必要な日本語研修を実施。

愛知県 県民文化局の取り組み

愛知県の人口約750万人のうち、外国人県民は約33万人（約4.5%）です（2024年12月末時点）。外国人県民の生活をサポートするさまざまな取り組みを進めています。

県内の、地域
日本語教室の

現状

- ◎子ども向け地域日本語教室：134教室
- ◎大人向け地域日本語教室：155教室

課題

- ・人手不足（指導者・ボランティア）
- ・教室運営費の確保
- ・会場の確保 ・送迎

外国人県民の日本語習得を支援／地域日本語教室支援の取り組み



●「日本語学習支援基金」による助成（～2026年度）

2008年に「日本語学習支援基金」を造成し、NPO等が運営する子ども向けの地域教室等に対して運営費や会場費を助成。

「日本語学習支援基金」終了後も教室が運営を継続できるよう、新たな支援策を検討するための日本語学習支援検討会議を2023年に設置。

●キャッシュレス募金ができる「スマ募」を構築

キャッシュレスで直接日本語教室に寄付ができるWEBサイト「スマ募」を構築。



●産学連携による地域日本語教室支援活動

地元企業の社員ボランティアによる地域の日本語教室支援活動に、愛知県も連携・協力。

外国人県民の生活をサポート／多文化共生の取り組み

- 多言語の相談窓口
- 対話型の日本語教室
- 多言語による情報発信
- 医療通訳
- 防災・災害対策
- 多文化共生フォーラム



外国人労働者の
戦力化モデル構築を
目指す

「外国人の健全な受け入れに関する研究会 in 岡崎 第2回」を開催

Q なぜ、設立したの？

自動車産業の人手不足がより深刻化すれば、日本で車がつくれなくなる未来もありえます。日本のモノづくりの強みはチームワークです。外国人の方と一緒に働いてもらう以上、日本人と同様に育成に取り組み、外国人の方を含めた組織のチームワークを維持し続けるのが、子や孫の世代にわたり愛知のモノづくりを守ることにつながるはず。産業全体の課題に対し、自動車のふるさと愛知県らしい、外国人の戦力化モデルづくりにチャレンジしてまいります。



「外国人材受入企業での人材育成強化とマネジメントへの登用」分科会

- 先行する企業と協力し、日本語教育・人材教育の実践モデルを構築中
- 愛知県経営者協会と連携し、企業ニーズのヒアリングなどを実施



「日系ブラジル人 人材育成・正社員化（脱派遣社員）」分科会

- 外国人の子ども向けにロールモデル外国人との交流会やインタビュー動画を配信



- 2024年度無料配布のキャリア形成ガイドブックを製作等



山口たけし

「多文化共生・コミュニケーション促進」分科会

- 翻訳アプリ等の実証
- 多文化共生イベントの実施（2025年は、「ワールドレクチャー 民族衣装を通じて親しもうアジア!」「2025年ワールドフェスタ」など）



「山口たけしの思い」

将来的な愛知県の労働力不足の未然防止を目的に、本研究会を立ち上げましたが、研究会メンバーと議論を重ねる中、1990年代の日系人労働者受入拡大の反省を踏まえると、2027年の育成就労制度導入時には、**新たな外国人労働者の受入テーマが必要**、との考えに至りました。それが、**外国人労働者の戦力化**であり、日本人と同様の人材育成の仕組みをつくることです。『モノづくりは人づくり』この考えに日本人も外国人ありません。30年前に見てごされた課題に、研究会メンバーの知恵とチームワークで立ち向かいたいと思います。

